

MRI

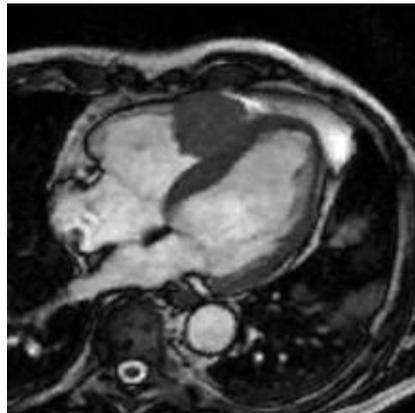
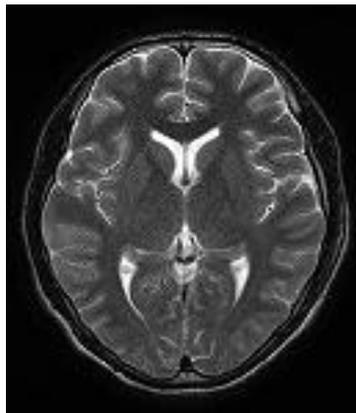
MRIとは？

MRIとはMagnetic Resonance Imagingの略で、日本語では磁気共鳴画像診断と言います。磁場と電波を利用して画像化しますので、縦、横、斜めと様々な断面の撮像が可能です。X線CTとは違い、X線を使用しないので、放射線被ばくのない非侵襲的な検査ですが、強力な磁場を利用した検査のため、検査中は騒音が発生します。



検査方法

検査を受けられる患者様は、通常、筒型(奥行き方向に170cm程度)の装置の中に寝ていただくだけで痛みなども伴いませんが、腹部や胸部の検査では数秒間の息止めを繰り返したり、検査によっては造影剤という薬品を静脈注射することもあります。



検査時間

検査時間は検査内容によって大きく異なり、15分から1時間程度かかる検査もあります。

検査を受けるにあたって

検査を受けることができない場合がある方

- ・ ペースメーカーをされている方
- ・ 血管ステントをされている方(ステントの素材によっては検査可能です)
- ・ 人工関節を入られている方(素材によって検査は可能です)
- ・ インプラントをされている方(素材によって検査は可能です)
- ・ クリッピング術をされている方(素材によって検査は可能です)

また、入れ墨、一部の化粧品、コンタクトレンズなどはごくまれに発熱する場合がありますので、事前にご相談ください。

妊娠中、または妊娠の可能性のある方は必ず検査前に医師または担当者にお知らせください。

検査を受ける方々へご注意

検査室は常に磁場が発生していますので入室前に腕時計、ヘアピン、ネックレス、下着の金属、眼鏡、補聴器、

入れ歯など、金属類はすべて外しておいてください。

また、キャッシュカードなどの磁気カードを持ち込まれますと、使用できなくなる場合がありますのでご注意ください。

MRI 検査室に 持ち込んではいけないもの

MRI 検査室には 24 時間常に巨大な磁場が働いています。

そのため、持ち込んではいけないものがあります。検査が終わっても磁場は消えません！

- ・ 金属系

腕時計・補聴器・携帯電話・カセットテープ・MD・ヘアピン・アクセサリー類（イヤリング、ネックレス、指輪など）

義歯・財布・小銭・ライター・メガネ・電池など・・・

これらを持ち込むと、患者様が検査室の中にいる時は、大変な事故になることがありますので、ご注意ください。

・ 磁気性

磁気カード（診察券・キャッシュカード・テレホンカード・定期など）

添付式磁気治療薬（ピップエレキバン・磁気バンド・耳つぼ針付き治療薬など）

これらを部屋の中に入れると、磁場をみだし、検査の障害となります。

また、その物品の機能に障害を与えたり、強力な磁場に引かれ、怪我をする場合もあります。

